

古書のたのしみ（令和七年七月）

土屋 博

一「萬寶百人一首小倉錦 全」

（東都馬喰町二丁目地本屋錦森堂、森屋治兵衛版、天保十一子年再板、五十丁）

古書價格參千圓也。天保十一年、丁度澁澤榮一の生れたる西曆千八百四拾年出版の古書籍なり。表紙は汚れたれど、中身は通讀に差し支へ無し。小倉百人一首の本文、人物畫を輯録するは勿論なれど、日本三夕の和歌、源氏歌、進物積様の圖、婚禮式法指南、萬折形の圖、女諸禮躰方など、役に立つ情報満載なり。



二「源氏物語 湖月抄 全七冊 普及版」

（文獻書院、昭和三年刊、定價七圓五拾錢）

古書價格四千八百九十圓也。首卷には、發端、年立、系圖、表白に加へ、用語篇として索引を収録す。



三「増註 源氏物語湖月抄 中巻 下巻」北村季吟大人原註、猪熊夏樹大人補註、文學博士藤井乙男先生序、龍谷大學文學部教授有川武彦校訂

（弘文社、中巻昭和十年九版、下巻昭和十年刊、定價各五圓、中巻九九七頁）

古書價格各二千圓也。函入、天金。中巻の初版は昭和三年。湖月抄の書籍として、以前紹介したる明治二十八年浪速國文館版と並びて美しきものなれど、手に持つにはやや重し。中巻は濤標の巻より柏木の巻まで。下巻は横笛の巻より夢浮橋の巻まで。

四「對校 源氏物語新釋 全六巻」吉澤義則著

（平凡社、昭和三十九年五版）

古書價格五千五百圓也。初版は明治二十七年。凡例によらば、湖月抄本を底本とし、尾張徳川家所藏の河内本を以て嚴密に對校し本文を立てたる由。吉澤義則（一八七六年生れ、一九五四年歿）は、愛知一中、第一高等學校、東京帝大國文科卒。京都帝國大學名譽教授。



五「紫式部 紫式部と源氏物語展」

（日本經濟新聞社・古代學協會、昭和四十二年刊）

古書價格二百圓也。

東武百貨店にて昭和四十二年五月に開催せられたる展示會のプログラムなり。寫眞多數。角田文衛（平博物館長）による「紫式部 その生涯と遺薰」を基調論文として掲ぐ。ほかに、山岸徳平「日本文學史上の源氏物語」、徳川義宣「王朝の美意識」を收録す。

六「特別展覽會 源氏物語の美術」

（京都國立美術館・日本經濟新聞社、昭和五十年刊）

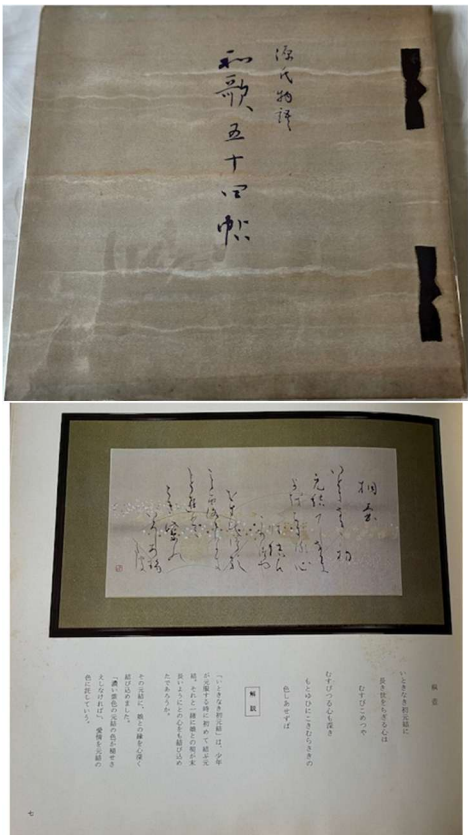
古書價格八百圓也。昭和五十年四月に京都國立博物館にて開催せられたる展覽會のプログラムなり。徳川義宣による源氏物語繪巻圖版の釋文略解は、極めて貴重なり。また、白畑よし「源氏物語繪について」、玉上琢彌「源氏物語について」など。

七「源氏物語 和歌五十四帖」

（紫苑會、昭和五十二年刊、六〇頁）

古書價格三千三百三十三圓也。昭和五十二年八月に日本橋三越本店にて開催せられたる展

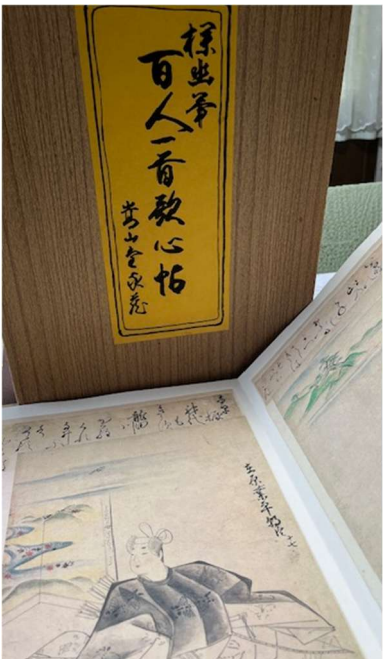
示會のプログラムなり。書道家の鈴木小江女史曰く、「十年近く取り組んで来た源氏物語五十四帖から二首づつ歌をとり書き列ねました」と。書者鈴木小江、和歌の譯者谷崎潤一郎、解説者池田彌三郎。



八「探幽筆 百人一首歌心帖」

(京都高山堂、一九八〇年頃復刻)

古書價格五千圓也。函、帙入り。四十三センチX三十二センチ。限定五百部のうちの三〇一番。狩野探幽(一六〇二年生れ、一六七四年歿)の描くオールカラー圖版なり。



九「陽明文庫舊藏 百人一首」有吉保編

(櫻楓社、昭和六十年刊、定價千六百圓、一一三頁)

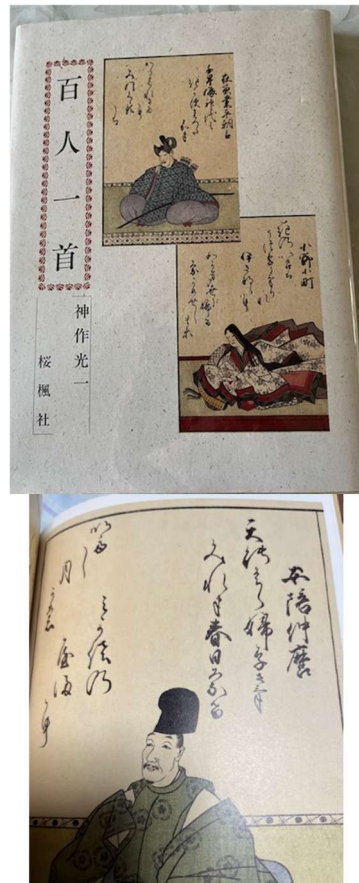
古書價格七百圓也。陽明文庫は京都市右京區にある近衛家傳來の古文書なり。



十「百人一首」神作光一編

(櫻楓社、平成三年刊、定價三千八百圓、一一九頁)

古書價格千二百八十圓也。土佐光貞畫、芝山持豐筆の「百人一首」(文化五年刊)の復刻なり。



十一「すぐわかる 源氏物語の繪畫」田口榮一編

(東京美術、平成二十三年二刷、定價本體二千圓、一五一頁)

古書價格千圓也。初版は平成二十一年。

源氏物語のあらすじを源氏繪により辿ることを得。美しき小冊子なり。

十二「古筆で讀む百人一首」日比野浩信・石澤一志編著

(和泉書院、二〇二五年刊、定價本體千九百圓、一五三頁)

古書價格千八百八十圓也。室町期の書寫をも含む百人一首斷簡集成なり。



十三「變體假名でよむ 百人一首」伊藤鐵也・吉村仁志編

(新典社、二〇二五年刊、定價本體二千四百圓、一二三頁)

古書價格二千八百五十一圓也。江戸時代の二種類(陽明及び鶴丸)の歌留多の復刻なり。



(令和七年八月十一日受附)